

News Release

2021年3月17日
ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社

米国ダイヤモンド電機株式会社、 新世代点火コイルを生産するための設備投資を実施

米国ダイヤモンド電機株式会社 (ダイヤモンドエレクトリックホールディングスグループ 本社：大阪市、社長：小野 有理)は、Ford Motor Company 様に向けた新世代点火コイルを生産するための設備投資を決定いたしました。本設備は2022年4月の稼働開始を予定しており、建屋の拡張も含めた設備投資金額は\$ 15.5M (約 16.3 億円、1\$=約 105 円) となっております。



当グループ 米国ダイヤモンド電機

この度の投資では、「お客様要求品質第一に徹する」という当社の方針のもと、オートメーション化を推進した次世代の生産設備となっており、本設備投資により、米国ダイヤモンド電機の生産能力は約20%拡大し、「点火コイルシェア世界一」に向かう当社の中核拠点の一つとして、お客様のご要望にお応えして参ります。

今後も当グループは、2016年7月より不変の方針である「お客様要求品質第一に徹する」ものづくり企業としてお客様の発展に寄与し、ひいては社会の豊かさに貢献するべく、現業の改善並びに新常态の時代に資する独自の技術開発に邁進して参ります。

■本リリースに関するお問い合わせ先

ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社 社長室 広報係
TEL: 06-6302-8211 E-mail: PR1_INFO@po.diaelec.co.jp